

2016年3月期 決算実績  
2017年3月期 業績予想  
概況資料

2016年5月12日

株式会社西武ホールディングス (9024)  
<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 2016年3月期 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 業績予想	P27
VI. 当期・次期の配当	P32

# I. エグゼクティブ・サマリー

## 2016年3月期 決算実績

### 営業収益は4期連続の増収、各利益において過去最高益を達成

(金額単位：億円)

	2015/3期 実績	2016/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2016/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)	
営業収益	4,817	5,080	+263	+5.5%	5,054	+26	+0.5%
営業利益	496	659	+163	+32.9%	636	+23	+3.7%
償却前営業利益	900	1,067	+166	+18.5%	1,046	+20	+2.0%
経常利益	420	585	+164	+39.0%	559	+25	+4.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	349	572	+222	+63.9%	487	+84	+17.3%

### 決算実績ポイント

#### ■ 営業収益

- ・インバウンドを確実に取り込んで特に宿泊部門が好調なホテル・レジャー事業（前期比+128億円）を中心に順調に推移し、大幅増収。

▶ [3ページ](#)

#### ■ 営業利益

- ・増収による増益に加え、コスト減少などもあり、増益。

▶ [4ページ](#)

#### <西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前期比+2.0%（定期+2.4%、定期外+1.7%）

▶ [11ページ](#)

#### <ホテル業>

客室稼働率 72.8%（前期比+3.0pt）  
シティ82.5%（+1.2pt）、リゾート54.5%（+5.2pt）

平均販売室料 14,513円（前期比+12.0%）  
シティ14,054円（+13.6%）、リゾート15,824円（+7.7%）

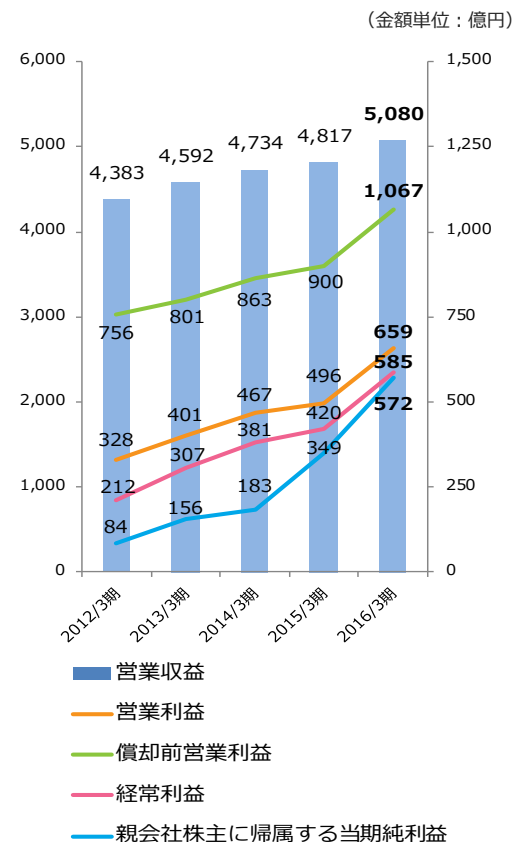
▶ [13ページ](#)

#### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益

- ・上記要因に加え、特別損益の計上があったことなどにより、前期比+222億円。

▶ [5ページ](#)

### 業績の推移



# I. エグゼクティブ・サマリー セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2015/3期 実績	2016/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2016/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	1,557	1,573	+16	+1.0%	1,572	+0	+0.1%	前期に子会社を売却したことによる減収があったものの、鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化などのほか、消費増税反動減の解消もあり増収。バス業においても好調に推移し増収。
ホテル・レジャー事業	1,751	1,880	+128	+7.4%	1,876	+3	+0.2%	ホテル業において、レベニューマネジメントの継続とインバウンドの確実な獲得により、シティ・リゾートともに宿泊部門が好調に推移したほか、仙台うみの杜水族館の開業効果などにより大幅増収。
不動産事業	485	496	+11	+2.3%	495	+1	+0.2%	グランエミオ大泉学園の開業や前期に実施した軽井沢・プリンスショッピングプラザの増床に伴う貸付床面積の増加などにより増収。
建設事業	979	1,049	+69	+7.1%	1,026	+23	+2.3%	繰越工事や建築部門のリノベーション工事の増加などにより、前期比及び対予想ともに増収。
ハワイ事業	139	193	+53	+38.3%	192	+0	+0.1%	レベニューマネジメントの強化や団体客の取込みのほか、土地の販売及び為替レートの変動などにより増収。
その他	365	375	+9	+2.6%	372	+2	+0.7%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことや、近江事業でバス事業が好調に推移したことにより増収。
調整額	△ 462	△ 488	△ 25	—	△ 483	△ 4	—	
<b>連結数値</b>	<b>4,817</b>	<b>5,080</b>	<b>+263</b>	<b>+5.5%</b>	<b>5,054</b>	<b>+26</b>	<b>+0.5%</b>	

# I. エグゼクティブ・サマリー

## セグメント別営業利益・償却前営業利益

### ■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2015/3期 実績	2016/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2016/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	230	258	+28	+12.5%	259	△ 0	△ 0.2%	増収による増益に加え、電気動力費や燃料費などコストの減少もあり増益。
ホテル・レジャー事業	105	206	+100	+95.5%	202	+4	+2.0%	増収による増益に加え、退職給付費用の減少などもあり増益。
不動産事業	147	145	△ 2	△ 1.6%	141	+3	+2.4%	前期に実施した利益率の高い土地売買（グループ内取引）が剥落したため減益。
建設事業	28	36	+8	+31.5%	25	+11	+47.6%	増収による増益に加え、工事利益率の改善により対前期及び対予想ともに増益。
ハワイ事業	△ 13	△ 8	+5	—	△ 8	+0	—	増収のほか、光熱費の減少などにより損益は改善。
その他	8	10	+2	+23.8%	10	+0	+0.7%	増収により増益。
調整額	△ 10	9	+19	—	5	+4	+71.4%	
<b>連結数値</b>	<b>496</b>	<b>659</b>	<b>+163</b>	<b>+32.9%</b>	<b>636</b>	<b>+23</b>	<b>+3.7%</b>	

### ■ 償却前営業利益

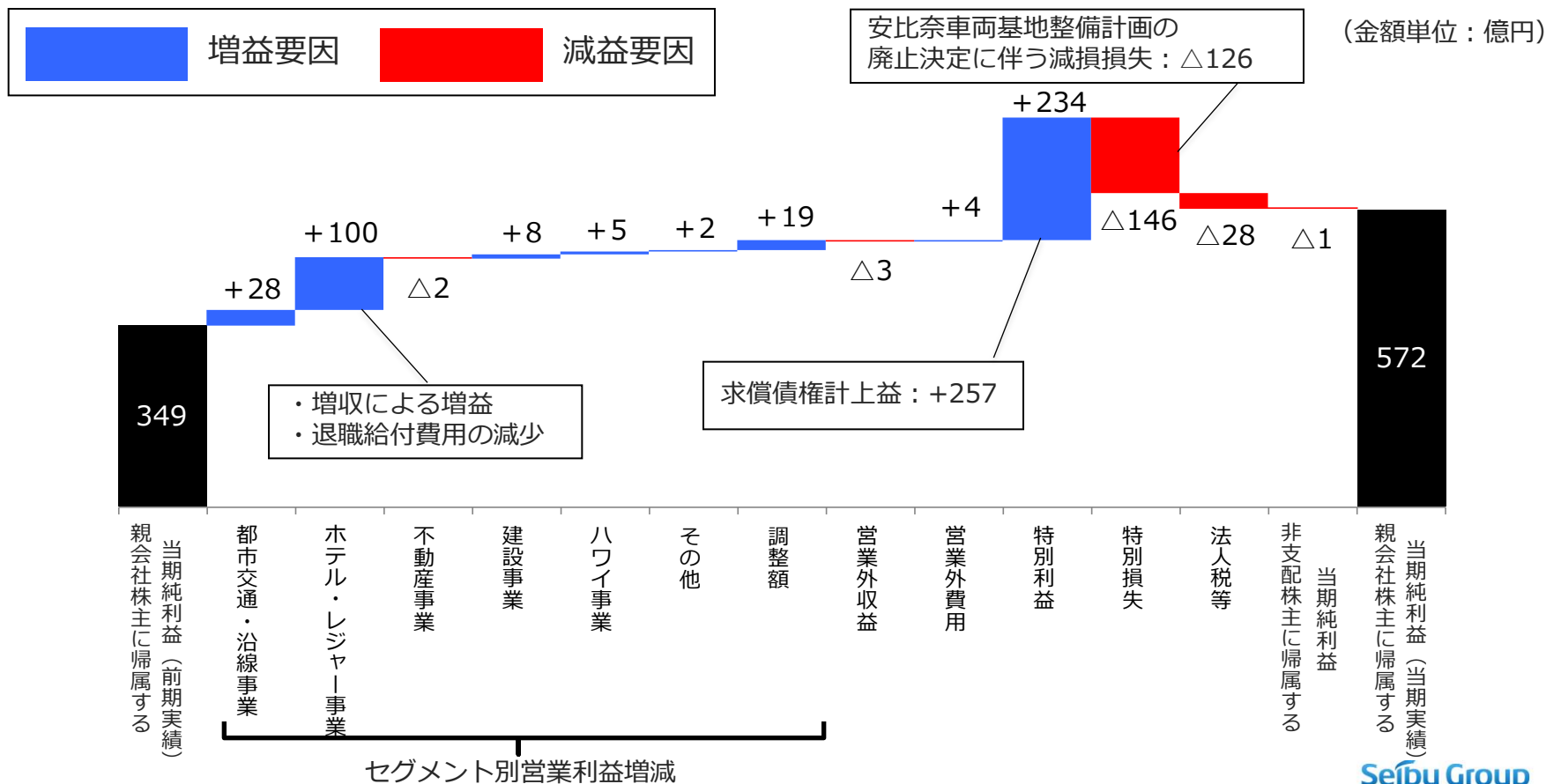
(金額単位：億円)

	2015/3期 実績	2016/3期 実績	対前期 (増減額・率)		2016/3期 2月予想	対2月予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	445	467	+21	+4.8%	469	△ 2	△ 0.5%	
ホテル・レジャー事業	216	320	+104	+48.4%	317	+2	+0.9%	
不動産事業	186	187	+1	+0.6%	184	+3	+1.7%	
建設事業	31	40	+9	+30.4%	28	+11	+41.9%	
ハワイ事業	3	12	+9	+270.3%	11	+0	+3.6%	
その他	33	36	+3	+11.8%	36	+0	+1.9%	
調整額	△ 15	1	+17	—	△ 2	+3	—	
<b>連結数値</b>	<b>900</b>	<b>1,067</b>	<b>+166</b>	<b>+18.5%</b>	<b>1,046</b>	<b>+20</b>	<b>+2.0%</b>	

# I. エグゼクティブ・サマリー

## 親会社株主に帰属する当期純利益 増減要因

ホテル・レジャー事業を中心に営業利益が増益。そのほか、求償債権計上益を特別利益に計上したこと、安比奈車両基地用地の整備計画の廃止を決定したことによる減損損失を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比+222億円（+63.9%）となった。



I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 2016年3月期 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 業績予想	P27
VI. 当期・次期の配当	P32

## Ⅱ. 2016年3月期の主な取り組み

### 全体

- ・「西武グループ ダイバーシティ推進 基本方針」を制定
- ・「2015西武グループFAMツアー」の実施や海外向けテレビCMの放映、海外拠点拡充による外国人向けのプロモーション強化
- ・西武ホールディングス設立10周年を機に西武グループ初の国内イメージCM放映
- ・「東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）」上棟式実施。（2016年7月27日全面オープン予定）



西武ホールディングス  
10周年記念ポスター



東京ガーデンテラス紀尾井町  
完成イメージ

### 都市交通・沿線事業

- ・西武鉄道100年アニバーサリー「SEIBU 100th Anniversary "SMILE DAY"」を開催
- ・観光案内所「SEIBU Tourist Information Center Ikebukuro」をオープン
- ・「SEIBU FREE Wi-Fi」の提供を開始（ターミナル駅等23駅）
- ・池袋駅リニューアル工事完了
- ・観光電車「西武 旅するレストラン52席の至福」（2016年4月17日運行開始）
- ・新型通勤車両「40000系」の導入決定（2017年春運行開始予定）
- ・新型特急車両を56両導入決定（2018年～2019年導入予定）
- ・飯能・宮沢湖にムーミンの世界が体験できるテーマパーク「Metsä（メツア）」を誘致（2017年オープン予定）
- ・「（仮称）西武秩父仲見世通り 複合型温泉計画」の事業決定（2017年春オープン予定）
- ・「西武バス I C 定期券」の発売を開始
- ・高速バス「プリンスエクスプレス箱根芦ノ湖」の運行を開始



池袋駅リニューアル



観光電車



## Ⅱ. 2016年3月期の主な取り組み

### ホテル・レジャー事業

- ・客室などリニューアル工事を実施  
（「函館大沼プリンスホテル」、「箱根仙石原プリンスホテル」、「雫石プリンスホテル」、  
「サンシャインシティプリンスホテル」、「新宿プリンスホテル」、「グランドプリンスホテル広島」など）
- ・ヨーロッパにおける営業体制強化として(株)プリンスホテル パリ支店を設立
- ・アクアパーク品川リニューアルオープンおよび仙台うみの杜水族館開業
- ・かぐらスキー場「スノーマットゲレンデ」オープン
- ・北海道新幹線の新函館北斗駅内に「プリンスホテルウエルカムカウンター」設置
- ・「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」がスターウッドの展開する最高級カテゴリー  
「ラグジュアリーコレクション」に加盟
- ・名古屋駅南再開発エリア「ささしまライブ24」に新たに建設される「グローバルゲート」内に、  
プリンスホテルとして名古屋初となるホテルの開業を決定（2017年秋オープン予定）



サンシャインシティプリンスホテル  
改装イメージ



アクアパーク品川

### 不動産事業

- ・池袋線大泉学園駅に商業施設「グランエミオ大泉学園」を開業
- ・駅ナカ商業施設「エミオ池袋」第2期 および「エミオ新所沢」第2期をオープン
- ・池袋旧本社ビル建替えおよび賃貸住宅「（仮称）エミリブ石神井公園」の工事に着手
- ・東京都港区オフィスビルを取得
- ・商業施設「アメリカン・ブルバード」が「Brick St.」としてリニューアルオープン  
（第2期2016年6月17日開業予定）
- ・「所沢駅東口駅ビル計画」事業内容決定（第1期2018年春、第2期2020年夏開業予定）



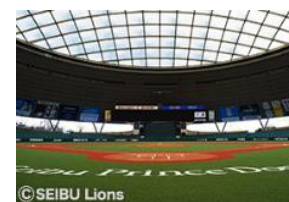
池袋旧本社ビル建替え後  
イメージ



「Brick St.」イメージ

### その他

- ・2008年以来、8年ぶりに西武プリンスドームの人工芝を張替（西武ライオンズ）
- ・3店舗目の介護施設「エミーズ原」をオープン（伊豆箱根鉄道）
- ・連節バスを導入（近江鉄道）



西武プリンスドーム

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
<b>III. セグメント情報及び営業指標</b>	<b>P10</b>
IV. 2016年3月期 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 業績予想	P27
VI. 当期・次期の配当	P32

### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ①都市交通・沿線事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	155,732	157,359	+1,626	+1.0%	
鉄道業	102,346	104,939	+2,592	+2.5%	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化のほか消費増税反動減の解消があったことにより増収。
バス業	25,102	25,610	+507	+2.0%	「西武バスIC定期券」の導入効果などにより路線バスが好調に推移し増収。
沿線レジャー業	21,533	21,724	+190	+0.9%	
その他	6,750	5,085	△1,664	△24.7%	前期に子会社を売却したことなどにより減収。
営業利益	23,009	25,884	+2,875	+12.5%	増収による増益に加え、電気動力費や燃料費など
償却前営業利益	44,599	46,738	+2,139	+4.8%	コストの減少もあり増益。

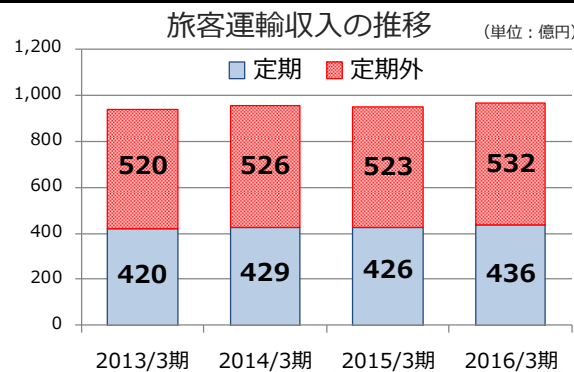
### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ①都市交通・沿線事業

#### 鉄道業の運輸成績（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2013/3期	2014/3期	対前期 増減率	2015/3期	対前期 増減率	2016/3期	対前期 増減率
輸送人員	定期	381,517	+2.6%	390,084	△ 0.3%	399,516	+2.4%
	定期外	238,960	+0.9%	238,411	△ 1.1%	243,176	+2.0%
	計	620,477	+1.9%	628,496	△ 0.6%	642,693	+2.3%
旅客運輸 収入	定期	42,043	+2.1%	42,673	△ 0.6%	43,683	+2.4%
	定期外	52,089	+1.1%	52,374	△ 0.5%	53,286	+1.7%
	計	94,132	+1.5%	95,048	△ 0.5%	96,969	+2.0%
運輸雑収	6,530	4,127	△ 36.8%	4,098	△ 0.7%	4,160	+1.5%
収入合計	100,663	99,691	△ 1.0%	99,147	△ 0.5%	101,130	+2.0%



#### ■ 定期

雇用情勢の堅調な推移に加え、消費増税反動減の解消もあり増加。

#### ■ 定期外

沿線での積極的なイベント活動、沿線観光地のプロモーション強化などで増加。また、消費増税反動減の解消も寄与。

### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ②ホテル・レジャー事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	175,121	188,021	+12,899	+7.4%	
ホテル業（シティ）	100,182	106,820	+6,638	+6.6%	レベニューマネジメントの継続と、増加を続けるインバウンドを確実に獲得できたことで、平均販売室料が上昇するなど宿泊部門が好調に推移し大幅増収。
ホテル業（リゾート）	36,245	38,308	+2,062	+5.7%	レベニューマネジメントの継続と、増加を続けるインバウンドを確実に獲得できたことで、客室稼働率および平均販売室料が上昇するなど宿泊部門が好調に推移し増収。
ゴルフ場業	12,171	12,227	+55	+0.5%	
その他	26,521	30,665	+4,143	+15.6%	仙台うみの杜水族館の開業やアクアパーク品川のリニューアルオープンなどにより増収。
営業利益	10,550	20,628	+10,078	+95.5%	増収による増益に加え、退職給付費用の減少など
償却前営業利益	21,617	32,069	+10,452	+48.4%	もあり増益。

# Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

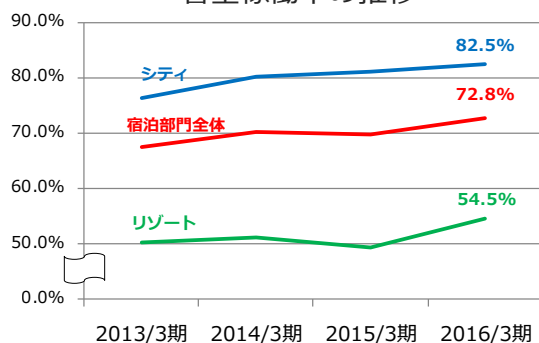
## ②ホテル・レジャー事業

### ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

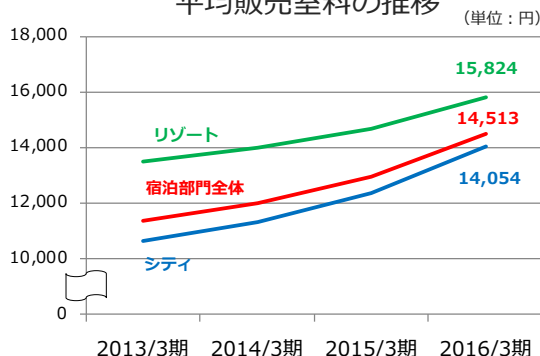
（室料：円）

		2013/3期	2014/3期	対前期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期
客室稼働率	シティ	76.4%	80.2%	+3.8pt	81.3%	+1.1pt	82.5%	+1.2pt
	高輪・品川エリア	82.5%	85.0%	+2.5pt	84.8%	△0.2pt	86.6%	+1.8pt
	リゾート	50.4%	51.2%	+0.8pt	49.3%	△1.9pt	54.5%	+5.2pt
	軽井沢エリア	49.0%	50.1%	+1.1pt	53.9%	+3.7pt	59.5%	+5.7pt
	宿泊部門全体	67.6%	70.2%	+2.6pt	69.8%	△0.4pt	72.8%	+3.0pt
平均販売室料	シティ	10,664	11,325	+661	12,370	+1,045	14,054	+1,684
	高輪・品川エリア	10,419	11,076	+657	12,427	+1,351	14,429	+2,002
	リゾート	13,530	14,020	+490	14,694	+674	15,824	+1,130
	軽井沢エリア	26,035	28,156	+2,121	30,512	+2,356	31,619	+1,107
	宿泊部門全体	11,387	12,005	+618	12,960	+955	14,513	+1,552

客室稼働率の推移



平均販売室料の推移



■シティ  
高い客室稼働率の維持に加え、平均販売室料が上昇。

■リゾート  
客室稼働率および平均販売室料ともに上昇。

# Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

## ②ホテル・レジャー事業

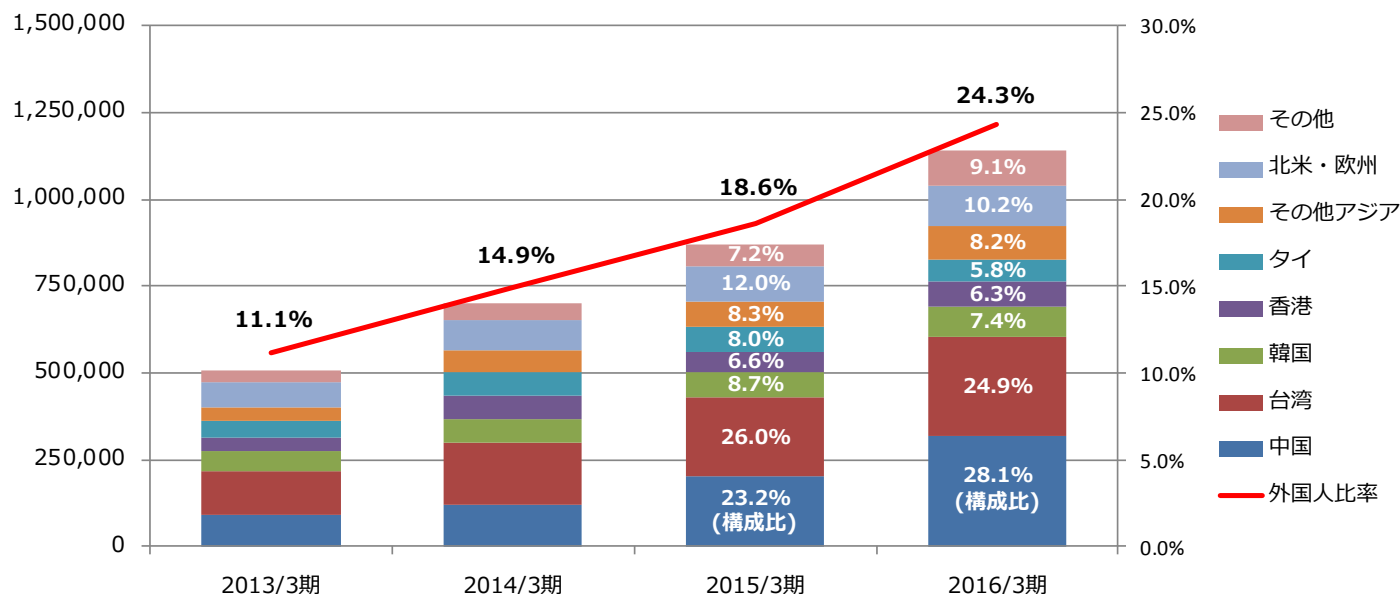
### インバウンドの動向（株式会社プリンスホテル）

（単位：人）

	2013/3期	2014/3期	対前期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期
邦人客	4,049,278	4,000,308	△ 48,970	3,816,942	△ 183,366	3,565,316	△ 251,626
宿泊客の内訳 外国人客	507,464	702,364	+ 194,900	871,174	+ 168,810	1,142,633	+ 271,459
計	4,556,742	4,702,672	+ 145,930	4,688,116	△ 14,556	4,707,949	+ 19,833

（単位：人）

国別外国人宿泊客数と外国人比率の推移



2016/3期の外国人宿泊客は対前期で27万人の増加（+31.2%）。

中国（+58.3%）、台湾（+25.6%）を中心としたアジア地域のほか、北米・欧州からの宿泊客も着実に増加している。

### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ③不動産事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	48,571	49,690	+1,119	+2.3%	
不動産賃貸業	30,209	31,265	+1,056	+3.5%	グランエミオ大泉学園の開業や前期に実施した軽井沢・プリンスショッピングプラザの増床に伴う貸付床面積の増加などにより増収。
その他	18,361	18,424	+62	+0.3%	
営業利益	14,757	14,528	△ 229	△ 1.6%	前期に実施した利益率の高い土地売買（グループ内取引）が剥落したため減益。
償却前営業利益	18,650	18,760	+110	+0.6%	

(面積：千㎡)

		2013/3期	2014/3期	対前期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	208	215	+7	229	+13	234	+5
	オフィス・住宅	56	59	+3	60	+0	60	+0
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	0.9%	1.0%	+0.1pt	1.1%	+0.1pt	1.0%	△ 0.1pt
	オフィス・住宅	12.3%	6.7%	△ 5.6pt	10.0%	+3.3pt	14.0%	+4.0pt



### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ④ 建設事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期		摘要
			(増減額・率)		
営業収益	97,991	104,983	+6,991	+7.1%	
建設業	70,222	79,484	+9,262	+13.2%	繰越工事や建築部門のリノベーション工事の増加などにより増収。
その他	27,769	25,498	△ 2,271	△ 8.2%	造園請負工事の減少などにより減収。
営業利益	2,809	3,694	+885	+31.5%	増収による増益に加え、工事利益率の改善により増益。
償却前営業利益	3,105	4,048	+943	+30.4%	

#### 建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2013/3期	2014/3期	対前期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期
期首繰越高	37,052	58,012	+20,960	62,321	+4,308	84,335	+22,014
期中受注高	79,125	73,057	△ 6,068	92,037	+18,981	94,045	+2,007
期末繰越高	58,012	62,321	+4,309	84,335	+22,014	99,069	+14,733

### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ⑤ ハワイ事業

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期		摘要
			(増減額・率)		
営業収益	13,955	19,303	+5,348	+38.3%	レベニューマネジメントの強化や団体客の取込みのほか、土地の販売及び為替レートの変動などにより増収。
営業利益	△ 1,367	△ 836	+531	—	増収のほか、光熱費の減少などにより損益は改善。
償却前営業利益	333	1,233	+900	+270.3%	

#### ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2013/3期	2014/3期	対前期	2015/3期	対前期	2016/3期	対前期
客室稼働率	72.8%	69.7%	△ 3.1pt	72.6%	+2.9pt	73.4%	+0.8pt
平均販売室料 (円)	15,783	19,639	+3,856	23,610	+3,971	29,146	+5,536
平均販売室料 (米ドル)	207.68	225.74	+18.06	231.47	+5.73	243.29	+11.82

### Ⅲ. セグメント情報及び営業指標

#### ⑥ その他

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期 (増減額・率)		摘要
営業収益	36,574	37,543	+968	+2.6%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことや、近江事業でバス事業が好調に推移したことにより増収。
営業利益	875	1,083	+208	+23.8%	増収により増益。
償却前営業利益	3,301	3,691	+389	+11.8%	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
<b>IV. 2016年3月期 決算実績詳細</b>	<b>P20</b>
V. 2017年3月期 業績予想	P27
VI. 当期・次期の配当	P32

# IV. 2016年3月期 決算実績詳細 連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
営業収益	481,727	508,081	+26,354	都市交通・沿線：+16億円、ホテル・レジャー：+128億円、 不動産：+11億円、建設：+69億円、ハワイ：+53億円、 その他：+9億円
営業利益	49,620	65,956	+16,335	都市交通・沿線：+28億円、ホテル・レジャー：+100億円、 不動産：△2億円、建設：+8億円、ハワイ：+5億円、 その他：+2億円
営業外収益	3,157	2,845	△312	
営業外費用	10,678	10,275	△402	支払利息 △6億円
経常利益	42,099	58,525	+16,426	
特別利益	7,478	30,919	+23,441	当期：求償債権計上益 257億円
特別損失	9,249	23,864	+14,614	当期：減損損失 142億円
税金等調整前当期純利益	40,328	65,581	+25,253	
法人税等	5,465	8,293	+2,828	法人税、住民税及び事業税 △23億円 法人税等調整額 +51億円
当期純利益	34,862	57,288	+22,425	
非支配株主に帰属する当期純利益	△49	80	+130	
親会社株主に帰属する当期純利益	34,912	57,207	+22,295	

# IV. 2016年3月期 決算実績詳細

## 営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
営業利益	49,620	65,956	+16,335	
営業外収益	3,157	2,845	△ 312	
受取利息・配当金	539	697	+158	
バス路線運行維持費補助金	808	819	+10	
持分法による投資利益	37	—	△ 37	
その他営業外収益	1,771	1,327	△ 443	
営業外費用	10,678	10,275	△ 402	
支払利息	10,119	9,464	△ 655	
持分法による投資損失	—	83	+83	
その他営業外費用	558	727	+168	
経常利益	42,099	58,525	+16,426	
特別利益	7,478	30,919	+23,441	
固定資産売却益	499	1,302	+802	
工事負担金等受入額	3,899	2,896	△ 1,002	
補助金収入	75	112	+37	
投資有価証券売却益	—	234	+234	
子会社株式売却益	1,368	—	△ 1,368	
求償債権計上益	—	25,775	+25,775	旧経営陣に対する求償債権の計上
退職給付信託返還に伴う数理差異償却	1,618	—	△ 1,618	
その他特別利益	16	597	+581	
特別損失	9,249	23,864	+14,614	
減損損失	1,862	14,215	+12,352	当期：安比奈車両基地整備計画の廃止決定に伴う減損損失 126億円
固定資産売却損	15	146	+130	
固定資産除却損	1,665	2,011	+345	
工事負担金等圧縮額	3,756	2,846	△ 909	
固定資産圧縮損	63	93	+30	
投資有価証券売却損	—	4	+4	
投資有価証券評価損	519	0	△ 519	
訴訟損失	30	3,539	+3,508	当期：判決確定に伴う訴訟関連費用の計上
その他特別損失	1,335	1,007	△ 327	
税金等調整前当期純利益	40,328	65,581	+25,253	

# IV. 2016年3月期 決算実績詳細 連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
資産 合計	1,519,911	1,553,092	+33,180	
流動資産	104,618	136,813	+32,195	受取手形及び売掛金 +5,491 その他 +27,453 (求償債権の計上など)
固定資産	1,415,293	1,416,278	+985	有形・無形固定資産 +17,582 繰延税金資産 +4,651 退職給付に係る資産 △14,644 投資有価証券 △7,246
負債 合計	1,152,474	1,160,443	+7,968	
流動負債	323,334	317,855	△ 5,479	短期借入金の減少 △13,494 支払手形及び買掛金 +5,138
固定負債	829,139	842,587	+13,447	長期借入金の増加 +22,955 退職給付に係る負債 +10,681 繰延税金負債 △9,446 訴訟損失引当金 △7,647
純資産 合計	367,437	392,649	+25,212	
自己資本	365,674	391,415	+25,741	利益剰余金 +54,316 退職給付に係る調整累計額 △22,512 その他有価証券評価差額金 △7,027
有利子負債 期末残高	840,329	843,745	+3,416	
ネット有利子負債	816,742	821,328	+4,586	
自己資本比率	24.1%	25.2%	+1.1pt	
D/Eレシオ (倍)	2.3	2.2	△ 0.1	
ネット有利子負債 / EBITDA倍率 (倍)	9.1	7.7	△ 1.4	

# IV. 2016年3月期 決算実績詳細 連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
営業活動キャッシュフロー	80,168	75,757	△ 4,410	判決確定に伴う損害賠償金の支払など
投資活動キャッシュフロー	△ 76,012	△ 76,334	△ 322	
うち有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 68,449	△ 79,662	△ 11,212	東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）などの建設仮勘定の計上額の増加など
うち有形及び無形固定資産の売却による収入	1,442	1,212	△ 229	
うち工事負担金等受入による収入	4,942	5,149	+207	
財務活動キャッシュフロー	△ 5,428	△ 877	+4,550	借入金の増加など
現金及び現金同等物の期首残高	23,610	22,596	△ 1,013	
現金及び現金同等物の期末残高	22,596	21,085	△ 1,511	
フリーキャッシュフロー	4,155	△ 576	△ 4,732	
有利子負債残高	840,329	843,745	+3,416	



# IV. 2016年3月期 決算実績詳細 セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	24,029	25,779	+1,749	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中井～野方駅間連続立体交差事業（継続中）</li> <li>・東村山駅付近連続立体交差事業（継続中）</li> <li>・池袋駅リニューアル</li> </ul>
ホテル・レジャー事業	12,195	14,707	+2,511	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクアパーク品川リニューアル</li> <li>・仙台うみの杜水族館新設</li> <li>・函館大沼プリンスホテル、サンシャインシティプリンスホテルなど客室改装</li> </ul>
不動産事業	25,549	30,656	+5,106	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）（継続中）</li> <li>・オフィスビル取得</li> </ul>
建設事業	336	628	+292	
ハワイ事業	968	1,681	+712	
その他	2,399	2,746	+346	
調整額	△ 2,340	4,410	+6,750	グループ会社間取引の調整
設備投資 合計	63,139	80,609	+17,470	

## IV. 2016年3月期 決算実績詳細 セグメント別減価償却費

(金額単位：百万円)

	2015/3期	2016/3期	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	21,590	20,853	△ 736	
ホテル・レジャー事業	11,067	11,441	+374	
不動産事業	3,892	4,232	+340	
建設事業	296	353	+57	
ハワイ事業	1,700	2,069	+369	
その他	2,426	2,607	+181	
調整額	△ 541	△ 812	△ 271	
減価償却費 合計	40,430	40,745	+314	

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 2016年3月期 決算実績詳細	P20
<b>V. 2017年3月期 業績予想</b>	<b>P27</b>
VI. 当期・次期の配当	P32

# V. 2017年3月期 業績予想 連結業績予想

(金額単位：億円)

	2016/3期	2017/3期 予想	対前期	2016/3期 2Q	2017/3期 2Q 予想	対前年同期
営業収益	5,080	5,142	+ 1.2%	2,508	2,540	+ 1.3%
営業利益	659	484	△ 26.6%	381	281	△ 26.3%
償却前営業利益	1,067	955	△ 10.5%	579	503	△ 13.2%
経常利益	585	407	△ 30.5%	342	251	△ 26.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	572	295	△ 48.4%	242	209	△ 13.7%

## ■ 営業収益 5,142億円

ホテル・レジャー事業において、ホテル耐震補強工事による営業休止の影響があるものの、レベニューマネジメントの強化による宿泊部門の成長及び不動産事業における「東京ガーデンテラス紀尾井町」の開業などにより増収。

## ■ 営業利益 484億円

「東京ガーデンテラス紀尾井町」開業にともなう一時的な経費の増加などにより減益。

## ■ 経常利益 407億円

## ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 295億円

営業利益の減少のほか、求償債権計上益がなくなることなどにより減益。

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# V. 2017年3月期 業績予想 セグメント別業績予想

## セグメント別 営業収益

	2016/3期	2017/3期 予想	対前期	2016/3期 2Q	2017/3期 2Q 予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	1,573	1,583	+ 0.6%	791	798	+ 0.9%
ホテル・レジャー事業	1,880	1,923	+ 2.3%	936	957	+ 2.2%
不動産事業	496	543	+ 9.3%	251	257	+ 2.2%
建設事業	1,049	1,036	△ 1.3%	427	434	+ 1.4%
ハワイ事業	193	209	+ 8.3%	86	101	+ 16.9%
その他	375	378	+ 0.7%	226	230	+ 1.6%
調整額	△ 488	△ 530	—	△ 211	△ 237	—

(金額単位：億円)

## セグメント別 営業利益

	2016/3期	2017/3期 予想	対前期	2016/3期 2Q	2017/3期 2Q 予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	258	252	△ 2.6%	161	155	△ 3.9%
ホテル・レジャー事業	206	114	△ 44.7%	106	68	△ 36.0%
不動産事業	145	55	△ 62.1%	82	16	△ 80.5%
建設事業	36	32	△ 13.4%	10	6	△ 41.2%
ハワイ事業	△ 8	11	—	△ 4	7	—
その他	10	5	△ 53.8%	23	19	△ 20.1%
調整額	9	15	+ 54.3%	2	10	+ 262.3%

## セグメント別 償却前営業利益

	2016/3期	2017/3期 予想	対前期	2016/3期 2Q	2017/3期 2Q 予想	対前年同期
都市交通・沿線事業	467	463	△ 0.9%	261	256	△ 2.3%
ホテル・レジャー事業	320	246	△ 23.3%	162	129	△ 20.5%
不動産事業	187	140	△ 25.4%	103	56	△ 45.7%
建設事業	40	36	△ 11.1%	11	8	△ 32.0%
ハワイ事業	12	32	+ 159.5%	5	17	+ 211.4%
その他	36	32	△ 13.3%	35	32	△ 10.9%
調整額	1	6	+ 277.4%	△ 1	5	—

# V. 2017年3月期 業績予想 セグメント別設備投資

(金額単位：百万円)

	2016/3期	2017/3期 予想	対前期	摘要
都市交通・沿線事業	25,779	28,400	+2,621	・中井～野方駅間連続立体交差事業 ・東村山駅付近連続立体交差事業 ・新型通勤車両新造 など
ホテル・レジャー事業	14,707	39,000	+24,293	・耐震補強工事（東京プリンスホテル・グランドプリンス ホテル高輪） ・グランドプリンスホテル高輪客室改装
不動産事業	30,656	76,000	+45,344	・東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル 赤坂跡地開発計画） ・池袋旧本社ビル建替え計画
建設事業	628	500	△128	
ハワイ事業	1,681	7,700	+6,019	・ホテル客室改装など
その他	2,746	7,300	+4,554	・近江事業 不動産開発など
戦略投資枠	—	5,000	+5,000	
調整額	4,410	1,000	△3,410	
設備投資 合計	80,609	164,600	+83,991	

# V. 2017年3月期 業績予想 鉄道業 営業指標予想

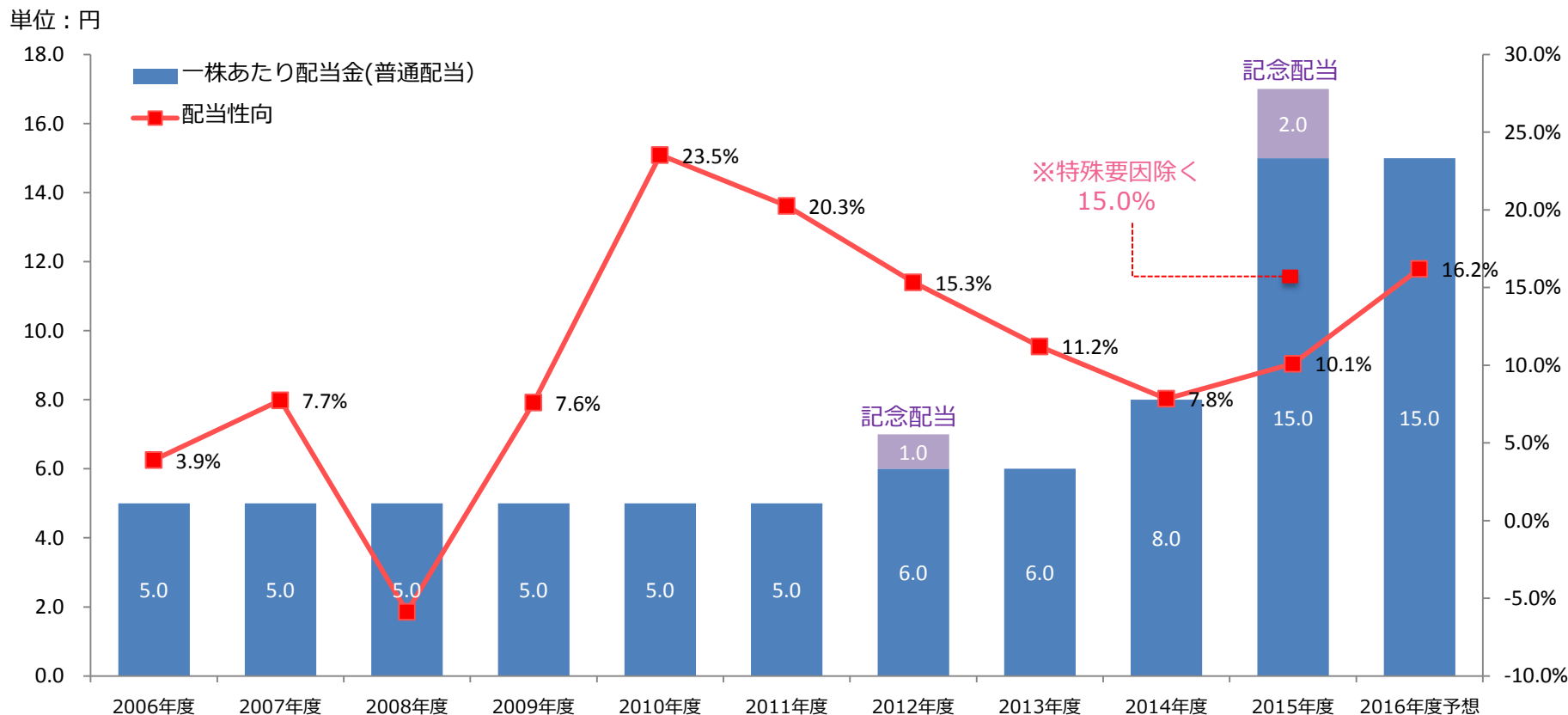
(人員単位：千人、金額単位：百万円)

鉄道業 (西武鉄道株式会社)		2016/3期	2017/3期 予想	対前期
輸送人員	定期	399,516	408,251	+2.2%
	定期外	243,176	243,717	+0.2%
	計	642,693	651,967	+1.4%
旅客運輸収入	定期	43,683	44,648	+2.2%
	定期外	53,286	53,777	+0.9%
	計	96,969	98,425	+1.5%

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2016年3月期の主な取り組み	P7
III. セグメント情報及び営業指標	P10
IV. 2016年3月期 決算実績詳細	P20
V. 2017年3月期 業績予想	P27
<b>VI. 当期・次期の配当</b>	<b>P32</b>



## VI. 当期・次期の配当



当事業年度の期末配当金につきましては、当事業年度の業績を勘案したうえ、1株当たりの年間普通配当を前期から7円増額して15円（期末の普通配当は前期から6.5円増額し10.5円）とするとともに、当社設立から10周年を迎えたことを記念して、これまでご支援いただいた株主の皆さまに感謝の意を表するため、1株当たり2円の記念配当を予定しております。（1株当たり年間配当額合計17円）

また、翌事業年度の普通配当につきましては、1株当たり15円（中間配当金7.5円、期末配当金7.5円）を予定しております。